

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1] 都市福利施設の整備の必要性

(1) 現状分析

本市の中心市街地には、小学校、市民文化会館、図書館、まちの博物館などの教育文化施設、総合福祉センター、子育て支援施設、多世代交流施設、保健センターなどの社会福祉施設、介護老人保健施設やデイサービスセンター等の介護施設、総合病院などの医療施設など主要な都市機能が集積しており、社会生活、日常生活において多くの市民等が利用するために訪れる地域となっている。

(2) 都市福利施設の整備の必要性

高山駅西のエリアに立地する市民文化会館及び総合福祉センターは、完成から40年近くが経過し老朽化が進んでいるため、最新の耐震基準への対応、環境負荷の軽減が求められている。

また、既存施設の機能の充実・複合利用や稼働率の低い施設の運営内容を見直すなど、今までに整備・蓄積された基盤施設の有効利用に努める必要がある。

一方、宮川から東のエリアは、近世に城下町として形成され、歴史的建造物が多く残り、周辺において歴史的景観が保たれているほか、高山祭や町並み保存の活動など、歴史と伝統が息づく地域となっている。市民アンケートの結果によると、現在のイメージでは「観光客でにぎわうエリア」の割合が最も多く、将来目指すべきイメージでは「観光客でにぎわうエリア」に次いで多いのが「文化芸術に触れられるエリア」となっている。市民が暮らしの中で文化を感じられるまちづくりが求められている。

(3) フォローアップの考え方

基本計画に位置付けた事業等の進捗状況について確認するため、毎年調査を行い、目標指標への効果を把握しながら、状況に応じて事業促進のために必要な措置を講じる。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) 認定と連携した支援措置

① 認定と連携した特例措置に関連する事業

【事業名】高山駅西複合・多機能施設（仮称）整備事業（再掲）

事業実施時期		令和6年度～令和10年度	
実施主体		高山市	
事業内容		高山駅西地区まちづくり構想に基づき、必要な拠点・機能の形成を図るため、複合・多機能施設等を整備する。	
の位置づけ及び必要性 活性化を実現するため	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に資する理由	交流、行政機能などの都市機能の集積と強化のため、複合・多機能施設（仮称）等の整備を行い、中心市街地において、ふれあい・にぎわい・つながりを創出する拠点形成を図ることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）	
支援措置実施時期	令和7年度～令和10年度	支援主体	国土交通省
その他特記事項			

② 認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

【事業名】結婚新生活支援補助金

事業実施時期		平成 31 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		市民が安心して結婚及び子育てできる環境を整備するため、経済的な支援を必要とする新婚世帯に対し住居費、リフォーム費用、引越費用を助成する。	
の位置づけ及び必要性	目標	居住人口の維持	
	目標指標	中心市街地への転入・転居者数	
	活性化に資する理由	これから夫婦として新生活をスタートさせようとする世帯を対象に新生活のスタートアップにかかる費用の支援を行い、結婚に伴う経済的な不安である「住居費」を解消することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		地域少子化対策重点推進交付金（結婚新生活支援事業）	
支援措置実施時期		令和 6 年度～令和 10 年度	支援主体 こども家庭庁
その他特記事項			

【事業名】児童センター等運営事業

事業実施時期		昭和 58 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		子どもに健全な遊びを提供するために、児童センター及び児童館を運営する。	
の位置づけ及び必要性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に資する理由	主に乳幼児親子が集えたり、子育て相談ができる場を市街地中心部に設置することで、買い物等の用事も中心部で済ませることができ利便性が高まることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		子ども・子育て支援交付金	
支援措置実施時期		令和 6 年度～令和 10 年度	支援主体 こども家庭庁
その他特記事項			

【事業名】つどいの広場運営事業

事業実施時期		昭和 58 年度～		
実施主体		高山市		
事業内容		子育て中の親子同士のふれあいやコーディネーターとの交流により、子育てに関する相談等ができるつどいの広場を運営する。		
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加		
	目標指標	歩行者通行量		
	活性化に資する理由	主に乳幼児親子で集えるつどいの場を市街地中心部に設置することで、買い物等の用事も中心部で済ませることができ利便性が高まることは、目標指標の増加に寄与するため。		
支援措置名		子ども・子育て支援交付金		
支援措置実施時期		令和 6 年度～令和 10 年度	支援主体	こども家庭庁
その他特記事項				

【事業名】ファミリーサポート事業

事業実施時期		令和 4 年度～		
実施主体		高山市		
事業内容		子育て世帯の不安や負担の軽減などを図るため、託児や SNS 等を活用した相談支援を行う。		
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加		
	目標指標	歩行者通行量		
	活性化に資する理由	市民（保護者）のリフレッシュや通院時など、少しだけ子どもを預かってほしい等のニーズに対応する場を市街地中心部に設置することで、一度に用事を済ませることができ子育て世帯の負担軽減を図ることは、目標指標の増加に寄与するため。		
支援措置名		子ども・子育て支援交付金		
支援措置実施時期		令和 6 年度～令和 10 年度	支援主体	こども家庭庁
その他特記事項				

【事業名】高齢者健康教室事業

事業実施時期		平成 16 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		公民館等を利用した健康教室や介護予防活動を支援する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	中心市街地活性化区域内に所在する地域福祉の拠点施設において、介護予防に資する健康教室を開催することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		地域支援事業交付金	
支援措置実施時期		令和 6 年度～令和 10 年度	支援主体 厚生労働省
その他特記事項			

(4) 国の支援がないその他の事業

【事業名】医療確保等支援事業

事業実施時期		平成 19 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		へき地における医療体制、救急医療体制の確保と充実を推進するため、市内の中核病院に対し助成する。	
の位置づけ及び必要性 活性化を実現するため	目標	居住人口の維持	
	目標指標	中心市街地への転入・転居者数	
	活性化に資する理由	中核病院の地域医療、救急医療体制が安定的に確保されることで、医療を必要とする市民等が必要な時に利用できる環境を整えることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期	—	支援主体	—
その他特記事項			

【事業名】救急医療対策事業

事業実施時期		平成 17 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		救急医療対策に関わる事業に対する助成及び休日の医科・歯科診療所を運営する。	
の位置づけ及び必要性 活性化を実現するため	目標	居住人口の維持	
	目標指標	中心市街地への転入・転居者数	
	活性化に資する理由	休日や夜間等の救急医療、緊急時の医療体制が確保されることで、市民の安心安全な生活の維持が図られることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期	—	支援主体	—
その他特記事項			

【事業名】温泉保養施設等利用費助成事業

事業実施時期		平成 16 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		温泉保養施設等の利用費を助成する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	健康保持増進、閉じこもり予防を目的として温泉保養施設等の利用費を助成することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】銭湯でまちづくり（公衆浴場設備改善事業）

事業実施時期		昭和 57 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		市内公衆浴場業者が設備の維持・改善のために行う改修等整備・改善の費用に対し助成する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	公衆衛生の向上と公衆浴場業者の経営安定に資することで、市民等の外出機会の創出につなげることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】まち歩きのススメ（健康づくり推進事業）

事業実施時期		平成 22 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		市内ウォーキングコースの案内看板を整備する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	地域資源を活用したウォーキングコースの整備を通して、健康への意識高揚を図りながら地域の魅力を感じられることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		－	
支援措置実施時期		－	支援主体 －
その他特記事項			

【事業名】健康づくり推進事業

事業実施時期		平成 2 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		市民と行政が一体となった健康に関するイベントを開催する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	健康づくりの取り組みを行う団体や市民の健康への意識向上を図るとともに、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援するイベントを開催することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		－	
支援措置実施時期		－	支援主体 －
その他特記事項			

【事業名】児童遊園地管理事業

事業実施時期		昭和 43 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		中心市街地域内に設置されている、東・一本杉・北児童遊園を管理する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	下校後や休日に遊べる公園を設置し、市街地中心部に子どもが遊べる場所を提供することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】老人福祉施設管理事業

事業実施時期		平成 19 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		福祉センター、老人いこいの家を設置し管理運営する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	健康づくりのための保健体育事業や趣味・教養を高めるための文化活動事業を行う老人福祉センターや、高齢者の余暇活動や交流の場である老人いこいの家を市街地中心部に設置することで利便性が高まることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】 まちの縁側事業

事業実施時期		平成 21 年度～	
実施主体		(株) まちづくり飛騨高山	
事業内容		空き店舗を活用し、多世代交流などコミュニティ形成の場として設置したまちの縁側を管理運営する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	誰もが気軽に立ち寄れる休憩所型コミュニティ施設をまちなかに設置し、多世代交流などコミュニティ形成の場を提供することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】 高山市若者等活動事務所「村半」運営事業

事業実施時期		令和 4 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		若者による地域活性化を進めるための市の事務所として整備した「若者等活動事務所村半」を管理運営する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に 資する理由	「村半」の管理運営を行うことにより、次代を担う若者たちが、歴史文化や地域の魅力を学び、学校や年代を超えた仲間づくりを行い、地域の大人も交え互いに高めあうことは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】図書館（煥章館）運営事業

事業実施時期		平成 16 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		市民の多様な学習活動を促進するため、生涯学習の拠点として図書館を管理運営する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に資する理由	図書館機能のほか、学習室、交流スペース、生涯学習ホールなどを備えた生涯学習の拠点としての図書館を運営し、市民の学習活動や交流を促進することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】市民文化会館運営事業

事業実施時期		昭和 57 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		市民の文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動の拠点として市民文化会館を管理運営する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に資する理由	大小ホール、展示室、音楽室などを備えた文化芸術活動の拠点としての文化会館を運営し、市民による文化芸術活動や交流を促進することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】文化芸術活動支援事業

事業実施時期		令和5年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		市民主体の文化芸術活動を支援することで、市民や観光客が文化芸術に触れる機会や交流人口を増やし、地域の活性化を図る。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に資する理由	市民が主体となって取り組む文化芸術活動に対し支援を行うことで、まちなかにおける文化芸術分野の人材育成や誘致を図ることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】飛騨高山まちの博物館管理事業

事業実施時期		平成23年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		城下町高山を中心とした歴史文化について、展示及び資料収集・保管、調査研究、教育普及などの事業を実施する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に資する理由	城下町高山を中心とした歴史文化に関する資料の展示や特別展等の事業を実施し、歴史ある中心市街地の魅力を高め、多くの市民や観光客をまちなかへ誘引することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】飛騨高山まちの体験交流館管理事業

事業実施時期		平成 30 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		伝統文化をテーマとした文化交流拠点施設として整備した「まちの体験交流館」を管理運営する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に資する理由	伝統文化をテーマとした防災機能を併せ持つ文化交流拠点施設として飛騨高山まちの博物館と一体的な活用を図り、歴史ある中心市街地の魅力を高め、多くの観光客をまちなかへ誘引することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		－	
支援措置実施時期		－	支援主体 －
その他特記事項			

【事業名】歴史遺産等保存活用事業

事業実施時期		令和 3 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		日本遺産を活用したスタンプラリー、フォトラリーを実施する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	来街者数の増加	
	目標指標	歩行者通行量	
	活性化に資する理由	中心市街地におけるイベントを実施することにより賑わいを創出することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		－	
支援措置実施時期		－	支援主体 －
その他特記事項			

【事業名】文化財保護事業

事業実施時期		昭和 52 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		指定文化財等の保存団体又はその所有者、保持者、管理者が行う文化財の保護、管理及び伝承者の育成等の活動に対し助成する。	
位置づけ及び必要性	目標	居住人口の維持 / 来街者数の増加	
	目標指標	中心市街地への転入・転居者数 / 歩行者通行量	
	活性化に資する理由	高山祭屋台や伝統的建造物群保存地区に代表される国・県・市指定文化財等の歴史的建造物や伝承芸能、史跡などの保存、活用に対する支援を行い、郷土の歴史遺産や伝統文化の継承を図ること、また、観光資源として保全し多くの観光客をまちなかへ誘引することは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】無形文化遺産伝承支援事業

事業実施時期		平成 19 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		ユネスコ無形文化遺産である「高山祭の屋台行事」の保存団体が行う祭礼衣装等の復興事業に対し助成する。	
の位置づけ及び必要性	目標	居住人口の維持 / 来街者数の増加	
	目標指標	中心市街地への転入・転居者数 / 歩行者通行量	
	活性化に資する理由	高山祭の屋台行事の維持、継承に支援を行うことにより、文化財の保護意識の向上や地域への愛着と誇りを持つようになることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		岐阜県文化財保護事業補助金（無形文化遺産伝承事業）	
支援措置実施時期		令和 6 年度～令和 10 年度	支援主体 岐阜県
その他特記事項			

【事業名】語り部養成事業（歴史ガイドボランティア育成事業）

事業実施時期		平成 22 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		語り部養成講座や歴史ガイドボランティア養成講座の開催により、市民参加型によるガイドの育成・確保を図る。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	居住人口の維持 / 来街者数の増加	
	目標指標	中心市街地への転入・転居者数 / 歩行者通行量	
	活性化に資する理由	郷土の歴史文化を易しく語ることができる人材を育成することにより、文化財の保護意識の向上や伝統文化の担い手の増加を図ることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			

【事業名】小中学校郷土教育推進事業

事業実施時期		令和 4 年度～	
実施主体		高山市	
事業内容		外部講師を招聘しての地域学習の実施や、社会科副読本「飛騨の高山」の作成及び活用を行う。また、特色ある学校経営推進事業補助金を交付する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 づ け 及 び 必 要 性	目標	居住人口の維持	
	目標指標	中心市街地への転入・転居者数	
	活性化に資する理由	地域学習のために中心市街地を訪れたり、副読本を活用した学習をすることで、中心市街地の成り立ちなどについて学び、児童生徒に興味を持たせることは、目標指標の増加に寄与するため。	
支援措置名		—	
支援措置実施時期		—	支援主体 —
その他特記事項			